

平成26年度編入学入試【一般入試】問題

小論文

(生物資源科学部 農林生産学科)

注 意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は1ページである。解答用紙は1枚である。指示があつてから確認し、解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙の所定のところに記入すること。
- 4 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 5 試験終了後、問題紙は持ち帰ること。

我が国の食料自給率（注1）は、1965年度の73%から2010年度の39%に低下しています。我が国の食料供給に関する世論調査（内閣府「食料の供給に関する特別世論調査」（2010年10月公表））によると、我が国の現在の食料自給率の水準については7割の人が低いと認識しています。また、将来の食料供給に対しても8割の人が不安と認識しており、現状より高い食料自給率が望ましいと回答しています。あなたは我が国の食料自給率の水準は現状のままで良いと考えますか。それとも向上させることが望ましいと考えますか。食料自給率の水準に関するあなたの考えを述べなさい。

注1）食料自給率とは、国内の食料消費が国内生産によってどのくらい賄えているかを示す指標である。このうち、カロリーベースの食料自給率は、栄養学的熱量（摂取カロリー）に着目して計算したものである。また、経済的価値である生産額に着目した生産額ベースの食料自給率も計算されており、2010年度における生産額ベースの食料自給率は69%である。上記の食料自給率は、カロリーベースの自給率であり、国際比較等幅広く用いられている。